



障害者の方のための パソコン講座全5コース終了

財団法人三重ボランティア基金(野呂昭彦理事長)から助成金の交付を受けて、CTF 松阪が主催して7月から9月にかけて開催したパソコン講座は、9月27日に全5コース(受講者数25名)を予定どおり終了しました。

この講座は、障害者の方を対象に、パソコンの基礎からワードとエクセルの入門、さらにはワードの応用操作までを、系統立てて習得していただけるよう計画したもので、CTFとしてもこれほどの規模の講座を開催するのははじめてのことでした。

期間中には台風の接近により一部日程の変更がありました。メイン講師、サブ講師、ボランティアの皆様の解りやすく和やかな進行により、受講者の方々から好評を得ました。

受講者の方々の声をまとめてみました。(右図)

パソコンなんて機器に弱い私でしたが講座を受けて良かったと思います

親切に教えて頂き有りがたく思っています

少し触っただけで意欲が湧いて来ました

スライドを見ているとよくわかりよかったと思う

もっと習いたいので次回もお願いします



今年の四五百の森は大変でした。あの神社の森の上に7階建てのマンションが首を出すという建設話が始まりでした。

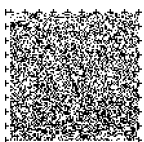
障害者福祉センターの2階から神社の方を見るとマンションの上部がニョキット森から首を出すという構想です。

殿町の自治会が中心となり、松阪の景観を守ろうと立ち上がった次第。NHKの全国放送でも取り上げられ8月に放送されました。

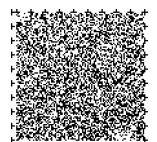
その後色々ありましたが、先日業者との討議の結果、建物の高さを下げて森の上に頭を出さないようにして景観を守る線で大略合意に近づいた模様です。

一度失った景観は環境と同じく決して元に戻らないということですね。

(koba)



今月号は文字数が多いので、1ページと2ページ、4ページにSPコードをそれぞれ2個ずつ付けてあります。1ページと2ページ、4ページでは、先に左下のSPコードを、次に右下のSPコードを読んでください。





NAT/IP マスカレード (Network Address Translator : IP アドレス変換装置)

最近では数台のパソコンを使って家庭内ネットワークを組んでおられる方が増加していますが、プライベートアドレスしか持たない家庭内のパソコンからは、グローバルアドレスが必要なインターネットへは直接接続することはできません。両方とも IP アドレスなので見た目は似ていますが、プライベートアドレスは外の世界では通用しないのでしたね。(前回説明)

そこで、インターネットとの出入口にルーターという機器を設置して、プロバイダーからグローバルアドレスをもらって、インターネットに接続したいパソコンのプライベートアドレスを正式なグローバル IP アドレスに変換しているのです。

このように、ルーター(ゲートウェイ)にはイーサネット側(家庭内 LAN)のプライベート IP アドレスをインターネット側のグローバル IP アドレスに変換する NAT という機能が備わっており、これによってローカルネットワークからインターネットへと接続することができるようになります。

NAT は、プライベートアドレスとグローバルアドレスを 1 対 1 で変換するため、3 台のパソコンで同時にインターネットを使うには 3 個のグローバルアドレス(回線とプロバイダー)が必要となります。そこで、1 個のグローバルアドレスで複数のプライベートアドレスを使えるようにした NAT/IP マスカレードという機能を使うことで 1 つの回線とプロバイダーで、たくさんのパソコンが同時にインターネットを使うことができます。

1 つのグローバルアドレスで複数のパソコンが同時に通信を行なうため、このままではポート番号が重複してしまいます。NAT/IP マスカレードでは、イーサネット側のポート番号をプライベートアドレス(パソコン)ごとに適当に割り当てて、通信のつどポート番号を変換することで解決しています。この IP アドレスとポート番号の変換は、自動的に行なわれます。

また、最近ではモデムなどを使って直接インターネットに接続される方は少なくなりましたが、たとえ 1 台のパソコンで接続する場合でもルーターを使用することで安全性が格段に上がります。それはルーターが間に立ってファイアウォール(注)の役目をしてくれるからです。ルーターの標準設定では、外から受けたリクエストは弾き返します。(ファイアウォール)これがルーターを使うと安全だという大きな理由です。

(注) ファイアウォール(Fire Wall)

組織内のコンピュータネットワークへ外部から侵入されるのを防ぐシステム。家庭内のネットワークにインターネットなどの外部ネットワークから第三者が侵入するのを防ぐために外部との境界にルーターを設置して、流れるデータを監視し、不正なアクセスを検出したら弾き返すシステム。

つづく

第5回市民がつくるUDのまちづくり県民講座開催のお知らせ

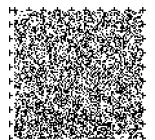
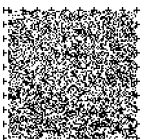
夢現会社バリアフリーが三重県の委託を受けて、次のとおり講演会を開催されます。

「人に優しい施設とは？」をテーマに、最新の施設である中部国際空港セントレアを題材とした講演です、皆様お誘いあわせのうえぜひご参加ください。(参加費は無料です)

日時：平成 17 年 10 月 29 日(土) 午後 1 時 30 分～3 時 30 分

場所：三重県松阪地方県民局 6 階大会議室(松阪市高町 138)

講師：株式会社連空間設計 森崎泰宣氏





活動報告

【9月】

精神障害者デイケア支援

1日 13:00~14:30
松阪市障害者福祉センターにて

障害者の方のためのパソコン講座

ワード・エクセル入門コース ②

5日、8日 各9:30~12:00
松阪市障害者福祉センターにて

ワード応用コース

12日、13日、26日、27日
各9:30~12:00
松阪市障害者福祉センターにて

障害者対象個人向けパソコン講座

20日 9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて

障害者宅訪問 IT サポート

2日、8日、12日、25日
一志病院、鈴鹿病院ほか

活動予定

【10月】

第17回理事会

8日 13:30~16:00
松阪市障害者福祉センターにて

障害者対象個人向けパソコン講座

4日、11日、18日、25日
各9:30~11:30
松阪市障害者福祉センターにて

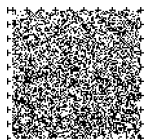


寒露・霜降

10月8日は寒露、23日は霜降です。

これらは二十四節気の名前で、寒露は、「山野に晩秋の気がたちこめ、肌に寒気を感じるようになる時期」と言われています。

霜降は、「秋も深まり、山野に霜を見るようになる時期」と言われています。



今月は、先月号につづき副会長岡野様からのご投稿です。
皆様方も日頃お考えの事を 600 文字ぐらいにまとめてご投稿ください。
お待ちしております。

バリアフリー的住宅建設顛末記(3)

清水の舞台から二度も飛び降りたもののかすり傷一つ負わなかった二人は、気を取り直してプランを白紙から考えることとなった。

このとき、これまでのCTFの活動の中で、障害者の方々との交流によるバリアフリー設備の実例に接したことやアドバイスをいただいたこと、夢現会社「バリアフリー」の皆様の諸施設バリアフリーチェックに同行させていただいた経験が、非常に役に立った。

屋内各室の段差をなくすことはもちろん、通路、出入り口の幅、玄関アプローチのスロープと手すり、玄関および勝手口の手すり、浴室およびトイレの手すり等々、当初設計段階から反映してもらうことができた。ただし、こちらが希望するような製品は種類が少なく、ある程度のところで妥協しなければならないこともあった。

将来車椅子生活となったときに便利だろうと思って設けた物、引っ越してきて2ヵ月余り生活してきたが、今の生活でも便利な物ばかりである。これこそまさに「ユニバーサルデザイン」と言えるのではないかと思うが、各メーカーももう少し熱心になってほしいものである。(豊富な品揃えや標準装備化、低価格化など)

いろいろあったが、建物も完成し当面快適な生活を送ることができており、この先車椅子生活となっても安心である。ただ一つの問題は“誰が車椅子を押してくれるか?”ということである、二人とも“自分は乗るほう、押すのは相方(=あいかた)”,と信じているので困ったものである。

最後に、無事故で工事を完成してくれた建設会社の関係者の方々、工事中の騒音・振動・粉塵などのいわゆる建設公害にも辛抱して下さった近所の皆様、そのほか私どもの周りの皆様方に感謝して…

おわり



編集後記

朝晩涼しくなり、やっと秋らしくなってきました。読書の秋です。秋の夜長に読書でもしてみませんか。



CTF 通信第31号

2005年(平成17年)10月発行

発行者 ITを活用した障害者支援 NPO 法人

CTF 松阪

発行責任者 川 口 保 美

住 所 〒515-0081 松阪市本町 2181-1

電 話 0598-21-7268

U R L <http://www.geocities.jp/sanguudo/ctf/>

